

はじまるだより

2020年 10月 8日
(9 月 号)
第 73 号

中国地方整備局
土師ダム管理所

インフラツーリズム再開 対策をとってダムを見学

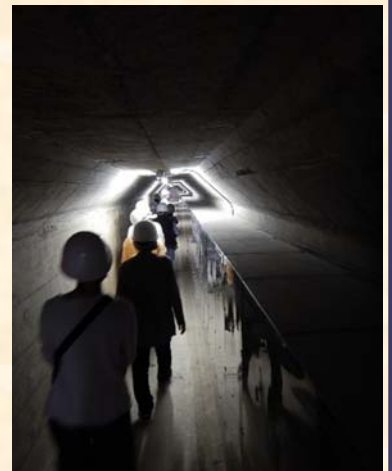
新型コロナウイルス感染症予防対策のため、4月の緊急事態宣言発令から、土師ダム見学受付を休止していましたが、要件も緩和されたため、土師ダム内部の見学受付をようやく再開しました。

第1弾は広交観光のオレンジバスツアーの『土師ダム堤体内部見学と2つの道の駅と二十世紀梨狩り』ツアーもバスの中が密にならないように40人乗りのバスに最大で16人という少人数のツアーとなりませんが、広交観光の担当者の話では、土師ダムツアーは大変人気の高いツアーだと言うことで、即売だったとの事でした。



県に流れる江の川にダムがありながら、その水を広島市や呉市、江田島等の島嶼部の方々が利用していること等を説明するとみなさんびっくりされたり、初めてダムの堤体内に入ったと言って感動されたりしていました。

ダムの見学は1時間ほどでしたが、この後、道の駅三矢の里あきたかたで昼食の後、森川観光農園での梨狩りに向かわれました。



ダムカードの配布を11月1日より再開します

新型コロナウイルス感染症予防対策のため、4月の緊急事態宣言発令から、土師ダム管理所、土師ダムサイクリングターミナル、土師ダム館の3箇所でのダムカードの手渡しでの配布を中止し、土師ダム管理所でのみ郵送受付を行ってまいりましたが、11月1日より全国の国管理ダムのダムカード配布が再開されることとなりました。

土師ダムでも3箇所での配布を再開いたします。次号以降で紹介しますが、土師ダムは、ダム天端のクレストゲート室等の改築を行うため、現行のダムカード配布は来年4月頃までとなります。新しいダムカードが出来る前に配布中のダムカードと、春にリニューアルされる新しいダムカードをぜひゲットして下さい。



土師ダムのリアルタイムの貯水位や流入量・放流量など詳しい情報はこちら

川の防災情報 <http://www.river.go.jp>



キャンプ・レンタサイクル
問合せ先

土師ダムサイクリングターミナル
電話 0826-52-2841
(火曜日が定休日です)



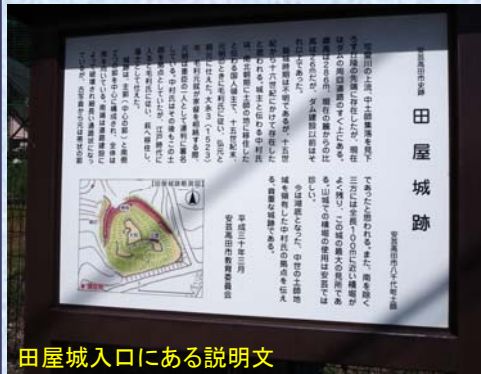
キャンプ場が大賑わい
コロナ渦の中、大勢の場所や密を避けるためか、アウトドア人気が高まっています。最近、テレビでよくキャンプが取り上げられていたこともあり、広島市内から約1時間で来れる土師ダムファミリーキャンプ場が大人気となっています。特に9月のシルバーウィークの4連休は定員いっぱいとなりデイキャンプが出来ないほどの人気でした。これから秋になり、朝夕の冷え込みが厳しくなりませんが、家族との思い出に、また、ソロキャンプを楽しんでみるのはいかがでしょうか？
キャンプ利用の問合せは、土師ダムサイクリングターミナルへお願いします。



横堀跡



田屋城跡から見るダム湖



田屋城入口にある説明文

田屋城跡から見るダム湖
どごえ公園のテニスコートの横にある小高い山。ここに15世紀から16世紀にかけて田屋城が存在していたと考えられています。城主と伝わる中村氏は南北朝(1336~1392年)に土師の地に移住したと伝わる国人領主とされており、中村氏は江戸時代に入り毛利氏とともに萩に移住して藩士として仕えています。詳しくは城の上がり口の看板に書いてあります。
城入り口から山道を入るとすぐに平らな土地が広がります。そこからもう少し山を登ると主郭の跡となり、ここから見下ろすダム湖面は絶景です。
ダム湖面側ではない山側には敵の侵入を防ぐための横堀の跡や、所々に石積み跡も見ることが出来ます。周辺には多くの山城跡が残っていることから山城ファンにとっては、たまらない場所の一つとなっています。(田屋城周辺には個人所有地がありますので注意願います。)

土師ダム周辺探訪
中世の山城 田屋城

八千代湖の水質(8月)

土師ダム湖心の水質(mg/l)

	COD(全層)		総窒素(表層)		総リン(表層)	
環境基準	3.0		0.43		0.018	
7月	3.5	×	0.53	×	0.028	×
8月	3.0	○	0.42	○	0.022	×

ダム周辺の観光客数(8月)

令和2年8月 11,685人



はじ丸

国土交通省中国地方整備局
土師ダム管理所
広島県安芸高田市八千代町土師369-24

TEL : 0826-52-2455
E-MAIL : haji@cgr.mlit.go.jp
URL : http://www.cgr.mlit.go.jp/haji
Twitter : @mlit_hajimaru

「はじまるだより」はホームページ、Twitterにもアップされています。